

NO. 2478
2026. 02. 01

編集発行
日本共産党鶴岡市議団
鶴岡市美原町16-5
電話22-3313

無料生活相談所

関 徹
長者町11-26
24-2414

菅井 巖
中 橋 9 6
33-0534

長谷川 剛
日枝坂本43-10
41-9148

坂本 昌 栄
稲生2-33-47
24-5993

加藤 鉦 一
宝徳仲田56
64-3941



新つるおかHP

比例は政党名で「日本共産党」

いよいよ総選挙

27日公示、2月8日投票

東北の宝 高橋ちづ子候補の議席奪還 必ず実現

高市政権の暴走政治に正面から対決 政治を変えてほしいという願いを託すことができる党



高橋ちづ子比例候補

という「異
次元の大軍
拡、
敵基地攻
撃ミサイル
の配備、
武器輸出
の全面解

損ない、
異常円安を加速さ
せ、
金利の上昇を招き、
物価高をより深刻に
し、国民生活の悪化に
拍車をかけます。

は、自民党政治への批
判は何もなく、政権交
代をめざすという立場
もありません。
この党の「基本政策」
は、公明党が昨年11月
に発表した5つの柱の
丸のみです。

高市首相が24日、通
常国会冒頭で衆議院を
解散し、27日公示、2
月8日投票で総選挙に
突入しました。

党利党略的解散

この解散は、高市政
権が、内政・外交とも
に行き詰まり、

自身の「政治とカネ」
の問題や、

統一協会と自民党と
の癒着が次々と明るみ
に出るもので、

とても国会審議に耐
えられない、

支持率の高いうちに
解散に打って出て、自
らの保身と延命をはか
り、

情勢の反動的打開を
はかろうという、

国民不在の党利党略
的解散です。

タガ外れた暴走

高市政権は、「一方の
支配」をふりかざすト
ランプ政権に追従し、
「安保3文書」の今年
中の改定、
「GDP比3.5%」

禁、
非核三原則の見直し
など、
日本国憲法も、専守
防衛もかなぐりすて
た、平和と暮らしを壊
す、タガが外れた暴走
です。

外交の力で平和を

この暴走に正面から
対決し、

「東アジア平和提言」
など、外交の力で平和
をつくる対案を掲げて
奮闘しているのは、日
本共産党です。

物価高 より深刻に

高市政権は、物価高
で多くの国民が苦しん
でいるのに、有効な対
策を何一つ打ち出すこ
とができません。

「責任ある積極財政」
の前身は、国債を大量
発行して、大軍拡と大
企業への途方もないバ
ラマキ、

一部政党をとりこむ
ための場当たり的なバ
ラマキです。
それは、円の信頼を

責任ある財源論

大株主・大企業応援
の政治から、国民の暮
らし第一の政治へのチ
ェンジを掲げ、

大企業と富裕層への
応分の負担など、責任
ある財源論を明らかに
して奮闘しているの
は、日本共産党です。

自民党政治にのみ込
まれた

立憲民主党が、衆議
院で党を解体し、公明
党が呼び掛けた「中道
改革連合」に吸収され
ます。

この党の「綱領」に

「日米同盟を基軸にし
た抑止力・対外力の強
化」を明記し、大軍拡
を進めます。
「平和安全法制が定め
る存立危機事態におけ
る自国防衛のための自
衛権行使は合憲」と述
べ、集団的自衛権行使
を合憲としました。
さらに「原発の再稼
働」も明記されていま
す。

この動きは、自民党
政治にのみ込まれたも
の、

11年にわたって共闘
のために努力を重ねて
きたすべての人々に対
する「裏切り」です。
(2面につづく)

日本共産党演説会



2月4日(水)
14:00~
青柳公民館

吉田恭子・比例候補が訴えます。
自民党政治を終わらせ、安心して暮らせ
る日本をつくるために、お誘い合わせの
上、ぜひお越しください。

有機米の作付面積を 目標に近づけるには

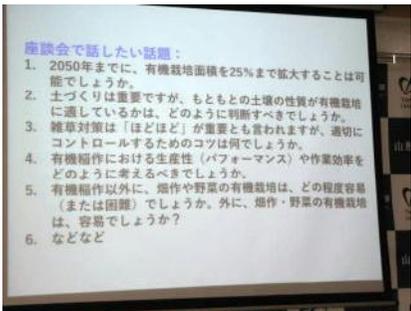
山形大学農学部で座談会開催

有機農業をめぐるユニークな座談会が23日、山形大学農学部で行われました。

「庄内地域有機農業の産学新春座談会」山大」と題し、主催は、同大学の程為国教授で、共催が鶴岡市有機農業推進協議会（小野寺喜作会長）。

大学関係者が7人、農家等が13人、出席しました。

農林水産省は、「みどりの食料システム戦



略」に基づき、2050年までに、耕地面積に占める有機農業の取組面積を25%（100万ha）に拡大するという目標を掲げています。

鶴岡市の有機農業の取組面積は令和3年度時点で、約90ha（水稲63・2ha、野菜類17ha、その他9・8ha）で、全耕地面積に対する割合は0・6%、有機農業従事者数は59人にとどまっています。

鶴岡市では有機米の作付面積を、令和5年度の66・8haから、9年度には68haに拡大する計画を立てています。

しかし、国の目標に対して大きな隔たりがあり、生産者と研究者

が相互に意見交換を行う場が必要であるとして、今回の座談会が企画されました。

同大学では2019年8月に、「産学連携有機稲作検討会」の「庄内」を、志藤正一さん（藤島千原）らの協力で立ち上げた経緯があります。

この間の土壌学の研究から、化学肥料を使用しない有機稲作栽培は、12年以上になると、地球温暖化の緩和機能を発揮しながら、土壌地力が促進されること分かりました。

水田雑草の抑制では、米ぬか施用によるコナギの抑制や、生育初期の「アイガモロポット」の活用、その後の多数回中耕除草などが話しあわれました。

稲作以外で注目されたのが、三瀬の加藤重弥さんの有機ニンニクの栽培です。

（1面のつづき） 共闘受け継ぐ

日本共産党は、11年間の市民と野党の共闘の成果を受けつぎ、立憲主義、平和主義を貫き、自民党政治を変え、新しい共同をつくるために全力をあげます。

高市政権の暴走政治に正面から対決する党、

ニンニクの名産地である青森県田子町のベテラン生産者と連絡を取り合い、田子町では成し得なかった有機栽培を実現していること。

しかも、クマやイノシシ、猿などの野生鳥獣の被害は見られない（ニンニクの香りがキライなのか？）とのこと。

「令和のコメ騒動」

政治を変えてほしいという願いを託すことができる党として、

日本共産党は全力で選挙戦をたたかいます。

比例は政党名で投票となります。共産党は3区候補の擁立を見送り、比例に全力をあげ、東北の宝高橋ちづ子候補の議席奪還を、必ず実現していきます。

で、普通のお米が有機米より高くなり、米価が逆転しているとして、米不足を生み出した政府の失策に批判と、安定して栽培できる環境が大切だと出されました。

有機米の作付面積を目標に近づけるには、行政の取組姿勢と、学校給食の活用の拡大などが話しあわれました。

高市政権の社会保障削減阻止、介護確保を

▽昨年12月議会予算特別委員会で訪問介護事業の現状を告発し、確保策を県に求めました。

関 2024年の介護事業倒産は過去最高だが、中でも訪問介護が最多。国の基本報酬引き下げは重大。訪問介護事業所が無くなった自治体が全国109町村、1か所のみが268。事業所が残る自治

体でも、ヘルパー不足や高齢化によりサービス提供が困難となっている。大蔵村でも、唯一の事業所が赤字や人員不足により廃止され、「訪問介護があれば暮らせた人が暮らせなくなっている」状況。県として支援を

おこなうべき。健康福祉部長 訪問介護は、高齢者が住み慣れた地域で自分ら



しく暮らし続けることができるようにする上で極めて重要な事業。事業所数は7年半で14事業所減少し200。訪問介護事業所が1か所も無い自治体は1町村、1カ所のみ13市町村。事業所アンケートを実施し、厳しい経営環境を確認した。

これまでもカソリン代高騰や介護人材不足に対する支援に取り組んできたが、今後政府の動向を注視するとともに、市町村と連携し、訪問介護を始め介護サービス全体の提供体制の維持に向けスピード感を持って取り組んでいく。

▽高市政権の社会保障費削減を阻止する事が喫緊の課題です。この問題は昨年12月市議会で坂本市議が取り上げています。

（県議 関 徹）

鶴岡市衆院選執行経費 9720万円を専決処分

衆議院の解散による衆議院議員総選挙の管理執行経費として、鶴岡市は1月23日付けで、一般会計補正予算の専決処分を行いました。

補正額は、衆議院議員総選挙費9720万円（財源は県支出金9720万円）。

国全体では、予算ベースで850億円超となり、鶴岡市の一般会計予算・約840億円に近い額の国民の税金が使われます。

国政選挙の経費は国の法律の改正（2025年5月）などによつ

て、期日前投票所の立会人の日当は、9600円から1万9000円に、

選挙事務所の立て札や看板の作成費は、1枚あたり5万6613円から6万1379円になり、ポスターの印刷費なども1割ほど引き上げられました。

結果 入札課建設産業庁舎温
（ ）内は予定価格
1月22日入札分
・令和7年災33-102戸沢災害復旧工事（戸沢字小早田地内）中止